

令和7年度 事業計画書

大慈厚生事業会

	施設名等	ページ
1	法人本部	P 1～P 7
2	大慈弥勒園	P 8～P 15
3	大慈ショートステイ	
4	大慈デイサービスセンター	
5	大慈吉祥園	
6	特定施設入所者生活介護事業所 大慈吉祥園	
7	ヘルパーステーション大慈	
8	大慈智音園	P 16～P 18
9	大慈智音園ショートステイ	P 19
10	ケアハウス大慈	P 20～P 22
11	大慈ショートステイさくら	P 23～P 24
12	西神南あんしんすこやかセンター	P 25～P 27
13	居宅介護支援事業所 大慈園	P 28～P 29
14	大慈幼保連携型認定こども園	P 30～P 32
15	大慈ひょうご幼保連携型認定こども園	P 33～P 35
16	大慈ほまれ幼保連携型認定こども園	P 36～P 38
17	大慈あい小規模保育園	P 39～P 40
18	大慈さち小規模保育園	P 41～P 42
19	神戸市立たちばな児童館	P 43～P 47
20	神戸市立たちばな児童館放課後児童クラブ	P 48～P 49
21	湊学童保育コーナー	P 50～P 51
22	ハーバー大慈	P 52～P 53
23	大慈学童クラブ	P 54～P 55
24	おやこふらっとひろば中央	P 56～P 57
25	大慈さくら保育園	P 58～P 60

令和7年度 事業計画書

大慈厚生事業会

1.《経営理念》

- ①時代の変遷にともない、福祉ニーズの変化を敏感に把握し、社会の人々のために、良質な福祉サービスを提供する
- ②いつでも、どこでも、だれでもが必要なときに最善の福祉サービスを提供できるように、日々、研究・努力する
- ③All for one, One for all
[全てが一人の為に、一人が全ての為に]

2.《基本方針》

- ・法人の設立方針である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、人権を尊重した運営をする
- ・各施設の基本方針を尊重する
- ・社会的に評価を得られるよう努める

3. ～社会福祉法人を取り巻く環境が急速に変化している現代～

今後ますます少子高齢化が進み、生産人口の減少が加速することが予想されている。こうした中、福祉ニーズの複雑化・多様化・地域社会の変化に対応していくために私達に出来ることを考え、社会福祉法人としての存在意義を追求し、良質な福祉サービスの提供を継続し続ける大慈厚生事業会を目指す。

法人ヴィジョン「創設者の思いを胸に、常に改革を」

4. 《令和7年度目標》

- ①夢プロジェクトの継続
- ②中長期計画の完成と実施（令和7年度～令和11年度 5ヵ年）
- ③法人理念研修の実施
- ④新規事業に向けて準備・計画をする
- ⑤ITリテラシー研修の実施

5. 《行動計画》

- ①夢プロジェクトの継続
各部門施設管理者が、交流し、協力体制を作り、法人全体をみる視点を育成する。
- ②中長期計画の完成と実施
各部門施設管理者が中心となり、令和6年度より「経営計画策定ゼミナール」に参加し中長期計画を作成した。今年度は、理念の見直しや計画を実施する。
- ③法人理念研修の実施
法人全体の研修システムを夢プロジェクトメンバーを中心に作り、実施する
- ④新規事業に向けて準備・計画をする
今後も情報収集を話し合いながら、準備をしておく

⑤ I Tリテラシー研修の実施

令和7年1月より2年間、役職者対象に月2回 I Tリテラシー研修を実施し、 I Tに関する知識を適切に理解して活用する能力を身につけます。

6. 《主要事業》

	内容	月
役員会の運営	理事会の実施 決算・事業報告・その他 一次補正予算・予算・事業計画・その他	5月、11月、1月
	評議員会の実施 決算・事業報告・その他	6月
	内容	月
事務局運営事業	監査事項説明会、監事監査	5月
	監査資料の作成	6月
	現況報告書作成、資産登記	
	処遇改善実績報告書	7月
	労務（入職・退職等手続き・労働保険精算など）	随時
	給与計算	毎月15日
	年末調整	12月
	法定調書・支払報告書の作成	1月
	予算委員会	10月、1月
人材確保事業	各福祉系学校への営業活動	6月、11月
	就職フェアへの参加	年4回

7. 《会議》

会議名	頻度
法人運営会議	毎月
会計会議	

☆ 高齢者部門

1. 《目標》

すべての人（ゲスト・職員・ご家族）がより健康に、より幸福に。

～ウェルビーイングを目指して～

- ・組織力向上プロジェクトの実施
- ・安定した採用と利用者確保をすすめる。
- ・急速冷凍機の導入

2. 《行動計画》

①（施設間の横の繋がり）チーム活動の確立

高齢者部門の目標を各施設（縦型組織）・各チーム（横型組織）に落とし込み、それぞれが共通認識を持ち行動できるよう、各チームの目標設定時に大きく関わりを持つ。また、PDCAシートを用いて目標意識を高める。各管理者がチームの状況を把握し、支援できるようPDCAシートを見える化する。

- ・給与チーム
給与規程、新人事評価表の見直し・改善
賃金改善2%（令和6年度は2.5%）
- ・広報（採用）チーム
採用計画実施・費用対効果分析
学校訪問・合同説明会の参加、オンラインでのリクルート活動
インスタ広告・他SNSでの施設認知拡大
インターンシップ導入・実習プログラムの企画実施
- ・地域貢献チーム
地域との繋がりを密に、住民や関連機関と協力して地域の課題に取り組む
地域貢献事業行事予定に加え、西区青少年育成協議会主催行事に積極的に参加する
- ・主任チーム（研修委員会）
部署をマネジメントする力を身につける
キャリアパスの浸透（成長過程を把握し、必要なスキルが何か明確にする）
研修計画・キャリアアップイメージの定着
- ・ケアマネチーム
マネジメント業務の整理を行い、時間の余裕を作り、ゲスト・ご家族・現場職員とより良い信頼関係を築いていく。
- ・相談チーム
各施設の弱み・強みを知り、営業や広報活動を習慣化する。全ての事業所の充足率向上を図る。
- ・医務チーム
介護職員・看護職員双方の習熟度及び業務効率UPを目指す。
業務手順のマニュアル化、看取りの具体策実行と評価
- ・事務チーム
介護請求に必要な情報・証憑の統一、事務・相談員間の情報共有手順統一
どの施設でも対応できる事務員の育成
- ・機能訓練チーム
加算管理、統一した現場ケアの実現（持ち上げない介護）、福祉用具の活用支援
- ・栄養チーム
栄養管理における手順書・マニュアルの作成
急速冷凍機の導入に向け、関連機関、関連部署、関連業者と調整を行う。

②チームコーチングを活用し、リーダー育成やチーム作りを行う。

3. 《福利厚生》

月	内容
7月	勤続表彰
5・9・10月	職員旅行
3月	職員オブ職員

4. 《地域貢献事業》

現在の状況を踏まえて、開催があれば地域の行事に参加する。

月	内容	月	内容
8月	大慈園地蔵盆	10月	西区健康福祉フェア
9月	櫛谷川祭り	11月	井吹東祭り
	井吹きらきら祭り		井吹西祭り

- おもと会送迎（毎月）
- 認知症サポーター養成研修（都度）
- 井吹西町のつどい場の運営サポート（2か月に1回 第4水曜日）
- 櫛谷地域の通学路安全活動・清掃
- ほっとかへんネット神戸西 子ども食堂（小学生の長期休暇中 年3回程度）
- トライやる受入れ

5. 《研修計画予定表》

研修名	対象者	頻度
介護職員初任者研修	新人職員	4月～7月
新人職員研修	新人職員	4月～6月
ハラスメント研修	役職者等	年1回
評価者研修	人事評価する職員	年2回
ステップアップ研修	昇級予定者	年1回
交換研修	希望者	年2回
昇級者発表会	昇級予定者	年1回

虐待研修等の各施設共通研修はオンライン・対面のハイブリット型研修として年3回行います。

6. 《施設整備計画》

- ・ 大慈園 特殊機械浴更新、非常用照明、ホームページ入れ替え、PC 入れ替え等
- ・ ケアハウス大慈 非常灯交換工事、給水・給湯設備の改修更新、特殊浴槽導入

7. 《会議・委員会予定表》 … 横の繋がり会議

会議名等	
事業戦略推進会議（施設代表）	予算委員会（総務・各施設長）
地域貢献会議（各施設代表）	人事委員会（給与チーム）
広報委員会（広報チーム）	研修委員会（主任チーム会議）
ケアマネチーム会議	相談チーム会議
医務チーム会議	事務チーム会議
機能訓練チーム会議	栄養チーム会議

☆ 保育・児童部門

1. 《目標》

施設間の情報共有の強化
地域支援の多角化
園児・職員の確保の安定化

2. 《行動計画》

①施設を越えて横断的に活動し、事業の展開を図る。

子どもが将来も幸せになるよう、また保護者に寄り添って支援をしていくために、施設の枠を超えて、情報を共有し多角的に取り組んでいく。

同じ地域に複数の施設を運営している利点を生かし、地域課題の抽出、取り組みを広げ深めていく。

施設の枠組みを超えたチームで取り組むことにより、幅広く深く活動ができる。

・組織マネジメントチーム

安心して保育の資質向上に努められる職場環境を作る。

若手職員からの意見の吸い上げ等、職場の一員である意識を皆が持ち、働きやすい職場を作り、やりがいを感じられるようにする。

・地域貢献チーム

子育て世帯や高齢者世帯など、安心して地域で過ごせるよう地域の方と協力しながら必要な支援を行う。

・社会的養護チーム

養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行う。

地域貢献チームが窓口になり、特別な支援が必要なケースの対応をする。

・広報チーム

「いい保育・教育を行い、知っていただく努力をしよう」の考えを基に様々な知識や知恵を活用し、広報を実践する。

・保育・教育アドバイザーチーム

大慈の想いを継承するために、保育の知識や技術だけでなく、子どもへの想いや保護者への想いを継承する。

子どもや保護者との関わりを通して、気づきを伝え、園をよりいい方向へ導く。

・保育・教育実践チーム

アドバイザーから継承された想いを実践し、現場に落とし込む。

自分の得意な領域に属し、研究、実践に努める。

造形・表現チーム、自然環境チーム、音楽チーム、保育環境チーム

運動チーム

・リスクマネジメントチーム

安全性を高めるために、「想定外」を減らし「想定内」を増やす。

そのために、各施設からのチームで情報交換し、事例を増やし、解決策を見出す
そして、全施設に共有する。

・食事・食育チーム

食を通して、子どもが健やかに育つよう情報を共有する。
子どもへの食育だけではなく、保護者への食に関する情報提供をする。
保護者からの相談にのり、食に関する悩みの解決に繋げる。

・看護チーム

子どもの健康管理、怪我などの処置、受診時の付き添い。
職員の心身の健康管理。
園を越えて情報共有をし、感染症予防等に努め、保護者へ情報提供をする。

・事務チーム

事務の職務を行い、管理者が財政を把握できるよう連携を図る。

②メンタルヘルス

- 職員の心の健康を保つために体制を整える。
- 不調を感じた時の窓口を設置（看護チームが担当）
- カウンセラーの配置（カウンセラー職員2名）
- ストレスチェックの実施（社会保険加入職員）

3. 《福利厚生》

月	内容
7月	歓迎会・勤続表彰
12月	忘年会
3月	送別会

4. 《地域貢献事業》

月	内容
7月	イベントウィーク（おやこふらっとひろば）
8月	地藏盆（大慈こども園・ハーバー大慈）
10月	イベントウィーク（たちばな児童館）
11月	焼き芋大会（大慈ひょうごこども園）
1月	お餅つき大会（大慈ほまれこども園）

- 子育てサロン（大慈こども園とも分園・たちばな児童館）（月1回ずつ）
- だいじひろば（地域の居場所作り 東川崎地域福祉センターにて）（月2回）
- 外国にルーツを持つ子どもの学習教室（基本 毎週火曜日）
- 小学生の学習支援（基本 毎週金曜日）
- 園庭開放（園開放）（毎週火曜日 木曜日）
- ほっとかへんネット中央、ほっとかへんネット兵庫との連携
保育・児童部門全体の取り組みとして位置づけ、連携を図りながら行う。

5. 《研修計画予定表》

研修名	対象者	頻度
新任職員研修	新任職員	1 2月 1月 2月 3月
リーダー研修	リーダー職員	6月
中堅職員研修	2・3年目職員	5月
保育・児童部門合同研修	全職員	年1回
コンプライアンス研修	全職員	年2回
子どもの人権・人格の尊重のための研修	全職員	年2回
保育の振り返り	全職員	月1回

6. 《施設整備計画》

- ・大慈幼保連携型認定こども園とも分園 玄関ドア改修工事
- ・大慈ひょうご幼保連携型認定こども園 園庭改造工事

7. 《会議・チーム予定表》

職員会議	基本 月1回
管理者会議	基本 月1回
キッチン会議	基本 月1回
チーム会議	随時

令和7年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園
大慈弥勒園ショートステイ
大慈デイサービスセンター
養護老人ホーム 大慈吉祥園
指定特定施設入所者生活介護事業所 大慈吉祥園
ヘルパーステーション大慈

1. 《基本方針》

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的・肉体的な援助を行なう。又、ゲストの皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れずゲストやご家族に満足していただけるサービスを提供する。

2. 《行動指針》

- ① 「できない」理由ではなく、どうすれば「できるか」を考えます
- ② 仲間を信じチームワークを大切にします
- ③ 過去を重んじ、常に新しいことに挑戦します
- ④ 「おめでとう、ありがとう」が言い合える職場にします
- ⑤ 感謝の心を忘れず、誠実な対応を心掛けます
- ⑥ 自分の成長が仲間の成長と考えます

3. 《行動計画》

SDGs 取り組み宣言

SDGs とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている国際目標です。

2016年から2030年までの15年間に、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰一人取り残されない世界となるように17の目標を達成することをめざしています。

私たちは、ゴールを目指して地域とともに持続可能な笑顔あふれる社会の実現に貢献したいとの思いから、プロジェクトメンバーからなるSDGs プロジェクトが中心となって、「健全な経営」、「人材育成」、「働きがい」、「地域貢献」、「チャレンジ」の5つのテーマに集約し、SDGs 方針を策定しました。

誰もが住み慣れた街で安心して暮らし続けられる持続可能な「SDGs×大慈」の構築に向けて取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



4. 《中長期行動計画》

●最終目標（10カ年）

- 『選ばれる施設になる』・・・新規採用者25名以上の応募がある
- ・技術と情熱の両輪が育っている
- ・コミュニケーションと繋がり大切にする
- ・一人一人の夢や目標を叶える
- ・地域の中心的な拠点となり、地域とともに持続可能な社会をつくる
- ・大慈で蓄積した技術が世界の福祉を変える

●中長期目標（5カ年）

- ・高齢者介護の拠点として競合他社に負けない独自の強みをつくる
- ・ここで働きたいと思える施設になる

●令和7年度共通目標

①健全な経営 高齢者部門間で連携・協働化を推進し安定したサービスの提供

- ・施設間（弥勒・智音園・ケアハウス）の連携強化
- ・ケアマネジャー・入居予定者・近隣住民等を対象に施設見学会を定期的実施。

【充足率の目標達成値】

- ・特別養護老人ホーム大慈弥勒園 98%
- ・大慈弥勒園ショートステイ 90%（退所後）
- ・養護老人ホーム大慈吉祥園 99%
- ・大慈デイサービスセンター 75%



②人材育成

- ・会議コーチングを用いてファシリテーターや会議参加者のスキル向上をはかる
- ・委員会又はプロジェクトチームを中心にスマートデバ



スを活用し、情報共有・業務効率化等の生産性向上を図る

- ・一人一人の強みを見出し、活躍の機会を共につくる
- ・施設内研修全般について主任部会を中心に見直しを行う



③働きがい メンタルコーチと共にチームビルディングを実践

- ・コーチングを通じてチーム力の向上を図りながら、個々の能力を育てられる環境をつくる
- ・職員旅行の企画・実行
- ・大規模修繕計画、予算に基づいた、改修工事の実施

【環境整備計画（予定）】

- 1) 特殊機械浴入れ替え（購入・工事）
- 2) 非常用照明居室全数交換工事
- 3) デスクトップPC入れ替え
- 4) 職員制服入れ替え
- 5) ホームページ入れ替え
- 6) インカムの導入
- 7) その他（設備関連工事等）



④地域貢献 困っている方のサポーターとなる

- ・櫛谷、西神南地域を活気のある町になるよう、地域行事又は地域づくりを目的とした活動に、主体的に参加する。
- ・要援護者支援センターとして、地域防災ネットワーク作りに貢献し、地域防災の研修会を開催し基幹福祉避難所を周知する。
- ・野菜づくりを通して、櫛谷の地域づくりにゲストや施設職員と、その家族を巻き込んでいく。



⑤新しいことにチャレンジ

- ・ゲスト個々の願いが叶う、行事企画の実行
- ・やってみたい事が叶う職場



5. 《事業所別行動計画》

●特別養護老人ホーム大慈弥勒園

『職員間のコミュニケーションに重点を置き、常に最良の選択ができる』

- ①検討機会を多く持ち、少なくとも一つの決定事項を必ず実行する
- ②ICT 機器を活用し、情報（業務）の見える化を行う
- ③ゲストも職員も楽しめる季節ごとの行事企画や個人の希望を叶える外出を企画する

●大慈デイサービスセンター

「選ばれるデイサービス」になるために大慈の強みを出す

- ① 地域の知名度を上げ、利用者数を増やす
- ② 笑顔の提供が出来るようにクラブ活動、レクリエーションを工夫し充実させる

●大慈弥勒園ショートステイ

『迅速な対応を心がけゆとりを持って過ごせる環境・関係を構築する』

- ① 個別別機能訓練・体操・行事・レクリエーション等、参加したいと思える活動を推進
- ② ショートステイ利用前の荷物準備を少なくし、ご家族の介護の負担を軽減する
- ③ 利用して良かったと感じて頂けるような思いやりのあるサービスを提供する

●養護老人ホーム大慈吉祥園

『コミュニケーションをとっていく中でお互いの楽しみを見つける』

- ① ゲストも職員も楽しめる季節ごとの行事企画や個人の希望を叶える外出を企画する

6. 《職員会議等》

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	事業戦略会議	会計会議	フロア会議
	リーダー会議	事務部会	相談部会	ケアマネ部会
	医務部会	機能訓練士部会	栄養士部会	主任部会
随時	ケアカンファレンス			

7. 《委員会活動・OFF-JT等》

委員会名		
サービス向上委員会	事故再発防止対策委員会	身体拘束適正化検討委員会
虐待防止検討委員会	感染症防止対策委員会	非常災害時対策委員会
給食委員会	医療的ケア委員会	看取り介護委員会
予算管理委員会	労働衛生推進委員会	褥瘡防止対策委員会
入所検討委員会（弥勒）	生産性向上委員会	広報委員会
社会貢献委員会		

8. 《月行事・行事食・年間行事》

※ 感染状況により実施内容や実施期間が変更になる場合がございます。

●特別養護老人ホーム大慈弥勒園

<食事>

行事食（赤飯）	毎月1日
誕生日食	第3月曜日

<行事>

月行事	頻度
理髪、買い物外出、誕生日会、パン販売、ビデオ上映会、嚥下体操、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、園芸療法、誕生日会、	随時

	行事		健康・予防接種年間計画		防災計画
	施設全体	栄養科	項目	内容	
	年間行事・外出行事	季節行事予定			
4月	お花見パーティー	花見弁当			電話訓練、OFF-JT（防災机上訓練・検証訓練）
5月	母の日	季節の土鍋ご飯	ゲスト定期健診	胸部 X 線 採血	メール訓練、新人研修（消火訓練）
6月	父の日	おいしいお肉	全職員定期健診	胸部 X 線、 採血、検尿、 検便、心電 図、腰椎 X 線（CW）等	総合避難訓練（日中想定・通報訓練・避難訓練・不審者対策訓練）
7月	七夕	あんみつ 揚げたて天ぷら（3F）	予防接種予 （ゲスト・職員）	コロナワクチン	マニュアル検証 BCP 訓練（感染・災害）
8月	夏祭り、盆供養		弥勒ゲスト	採血、X-P	OFF-JT（土砂災害避難訓練）
9月	敬老の日 秋の彼岸法要	敬老の日 季節の土鍋ご飯 揚げたて天ぷら（1F・SS）			消火訓練（初期消火・消火器・消火栓扱い）
10月	秋の外出	焼き芋	予防接種（職員）	インフルエンザ予防接種	総合避難訓練（夜間想定・通報訓練・避難訓練・不審者対策訓練）
11月	紅葉狩り		予防接種（ゲスト）・健診	インフルエンザ予防接種	電話訓練
12月	クリスマス会	Xmas ランチ	介護職員定期健診	採血、X-P	BCP 訓練（感染・災害）
1月	初詣（諏訪神社）	おせち 七草粥 ぜんざい	予防接種 （ゲスト・職員）		メール訓練 地域合同防災訓練
2月	節分	節分 刺身			基幹福祉避難所開設訓練
3月	ひな祭り、春の彼岸法要	ひな祭り			災害物品庫の在庫整理・掃除

●大慈デイサービスセンター

<食事>

行事食（赤飯）	毎月1日
---------	------

<行事>

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
リハビリ体操	毎日	20～25 名	職員	理髪サービス	第 4 週目	希望者	美容師
誕生日会	随時	対象者	職員	クラブ活動	随時	3～4 名	職員
カラオケ	毎日	2～4 名	職員	園芸療法	月 1 回	3～5 名	外部講師
買い物ツアー	年 2 回	希望者	職員				
行事			健康・予防接種年間計画		防災計画		
施設全体		栄養科	項目	内容			
年間行事・外出行事		季節行事予定					
4 月	お花見(園内)	花見弁当			電話訓練、OFF-JT (防災机上訓練・検証訓練)		
5 月	母の日会	季節の土鍋ご飯			メール訓練、新人研修(消火訓練)		
6 月	父の日会 買い物ツアー	おいしいお肉	全職員定期健診	胸部 X 線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎 X 線 (CW) 等	総合避難訓練 (日中想定・通報訓練・避難訓練・不審者対策訓練)		
7 月	七夕まつり	あんみつ			マニュアル検証 BCP 訓練 (感染・災害)		
8 月	夏祭り				OFF-JT (土砂災害避難訓練)		
9 月	敬老会 ・慰問 ・職員出し物	敬老の日 季節の土鍋ご飯			消火訓練 (初期消火・消火器・消火栓扱い)		
10 月	運動会	焼き芋 揚げたて天ぷら	予防接種 (職員)	インフルエンザ予防接種	総合避難訓練 (夜間想定・通報訓練・避難訓練・不審者対策訓練)		
11 月	外出行事				福祉避難所開設訓練		
12 月	クリスマス会 ・ゲーム ・職員出し物 ・慰問	クリスマス会	介護職員定期健診	胸部 X 線、採血、検尿、検便、心電図、腰椎 X 線 (CW) 等	BCP 訓練 (感染・災害)		
1 月	・お餅つき	もちつき、七草粥、ぜんざい			メール訓練 地域合同防災訓練		
2 月	節分	節分、刺身			基幹福祉避難所開設訓練		

3月	買い物ツアー	ひな祭り			災害物品庫の在庫整理・掃除
----	--------	------	--	--	---------------

- 養護老人ホーム 大慈吉祥園
- 大慈吉祥園特定施設入所者生活介護事業所
- ヘルパーステーション大慈

行事名	頻度	人数	講師等	行事名	頻度	人数	講師等
生活リハビリ	毎日(個別毎)	2～5名	職員	カラオケ	毎週日曜	10名	職員
体操	月10～12回 (月・水・木曜日)	30名	中村先生 村越先生 和田先生	ラジオ体操 嚙下体操	毎日 日2回	全ゲスト	職員
華道	月1回	8名	西脇先生	ニコニコ ツアー	随時	1～3名	職員
絵手紙	月1回	10名	シルバー カレッジ	買物ツアー	月2回	2～8名	職員
書道	月1回	10名	下村先生	健康チェック	月1回	全ゲスト	職員
園芸療法	月1回	6名	外部講師	誕生日会	月1回	全ゲスト	職員
誕生者食事会	月1回	対象者	職員				
理髪	月1回	希望者	美容師				

	行事	
	施設全体	栄養科
	年間行事・外出行事	季節行事予定
4月	お花見(園内)	花見弁当
5月	母の日	季節の土鍋ご飯
6月	父の日	おいしいお肉
7月	七夕	あんみつ
8月	納涼祭(花火)、盆供養	揚げたて天ぷら
9月	敬老会(喜寿米寿)、秋の彼岸法要	敬老の日 季節の土鍋ご飯
10月	外食ツアー(6～10月)	焼き芋
11月	吉祥祭(文化祭)	吉祥祭・食事行事

12月	つぐみ保育園慰問、クリスマス会	クリスマスランチ
1月	新年会、初詣（諏訪神社）	おせち、七草粥、ぜんざい
2月	節分	節分、刺身
3月	ひな祭り、春の彼岸法要	ひな祭り・食事行事

9. 《職員構成》

●大慈弥勒園（ショートステイ含む）

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	1名
看護職員	管理栄養士	介護職員（常勤）	介護職員（非常勤）	
7名	2名	31名	16名	

●大慈デイサービスセンター

管理者	生活相談員	看護職員	機能回復訓練士	介護職員（常勤）	介護職員（非常勤）	運転手
1名	2名	1名	1名	5名	2名	4名

●養護老人ホーム大慈吉祥園

施設長	生活相談員	主任支援員	支援員	看護師	栄養士	事務員
1名	2名	1名	1名	1名	1名	1名

●指定特定施設入所者生活介護事業所 大慈吉祥園

管理者1名	介護支援専門員1名（吉祥園の相談員兼務）	介護職員6名
	相談員1名（吉祥園主任相談員兼務）	

●ヘルパーステーション大慈

管理者1名	サービス提供責任者3名	ホームヘルパー4名
-------	-------------	-----------

令和7年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈智音園

1. 《基本方針》

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、入居者の居宅における生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が継続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるサービスを提供する。

2. 《最終目標》

心・和み・笑顔 ～私達が将来入居したい施設を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします。
- ・全ての人々の和を大切にします。
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします。

3. 《令和7年度 施設の目標》（充足率98%）

※令和5年度から5年計画にて引き続き取り組みます。

- ①人財育成（チームコーチングにより、人間力を向上させます。）
- ②シフトシステム改革（無理なく、協力しあえるシフトシステム構築をします。）
- ③業務改善（職員から発信される無理と無駄をリサーチし、現場業務の見直しを行います。）
- ④福利厚生（職員を大切にする施設である事を、職員がさらに感じられる施設になります。）
- ⑤サービスの充実（ゲストと家族に満足頂けるサービスを提供します。）
- ⑥部署や施設を超えた繋がり（共創する関係を作ります。）

4. 《委員会活動》

委員会名		
リスクマネジメント委員会 ※2（見守りカメラ・センサー類）	身体拘束適正化・虐待防止委員会	感染症防止対策委員会
非常災害時対策委員会	給食委員会	看取り褥瘡防止委員会
労働衛生委員会	入所判定委員会	ノーリフト委員会 ※2（ピュアット・HUG）
行事委員会	サービス向上委員会 ※1	認知症ケア委員会

※1入所者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会（苦情解決も含む）

※2介護機器を安全かつ有効に活用するための委員会

5. 《地域貢献事業》

大慈弥勒園と同様

（プラス 智音園のみ）子育て世帯への食の支援事業

6. 《職員会議》

《職員会議》		《職員会議》		
頻度		会議名		
月 1 回	法人運営会議	知音会議 ※ 2 (すべての取りまとめ)	リーダー会議 ※ 2 (ほのぼの・血圧計・体温計・インカム)	ユニット会議
	口腔機能維持管理に関わる助言会議		食事観察及びミールラウンド会議	
随時	ケアカンファレンス			

7. 《行事・行事食・年間行事》

《食事》

行事食（赤飯）	毎月 1 回
選択食（朝食）	毎日
間食の日	毎月 3 回

《行事》

ビデオ上映会、カラオケ、嚥下体操、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩	随時
お誕生日プレゼント	年 1 回
ミュージックセラピー	各フロア毎月 1 回
(個人負担による、個別対応)	
理髪	毎月 1 回
洋服訪問販売	年 2 回
訪問美容	年 3 回
ひだまり喫茶	毎週 2 回
訪問歯科・訪問リハビリ	随時
外出行事	随時

	行事		健診・予防接種年間計画		防災計画
	施設全体	栄養科	項目	内容	
	年間行事	季節行事予定			
4月	お花見	花見弁当 4階 揚げたて天ぷら	ゲスト定期健診	採血	消火器使用期限確認 防災マニュアル確認
5月	母の日（プレゼント）	母の日（おやつ） 3階 揚げたて天ぷら			総合避難訓練（夜間） 高圧電気点検 消火訓練 災害連絡網更新
6月	父の日（居酒屋） 玉津中学吹奏楽部訪問（ご家族参加）	2階 揚げたて天ぷら	全職員定期健診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、腰痛問診（CWのみ）等	不審者対策訓練 BCP 確認+BCP 訓練 災害電話訓練 空調点検

7月	七夕短冊飾り	七夕 (ちらし寿司) 流しそうめん 5階 揚げたて天ぷら 3階 喫茶智音			総合避難訓練 (日中) 消火訓練 暗証番号変更
8月	かき氷	4階 焼きたて焼き鳥 2階 喫茶智音	ゲスト定期 健診	胸部X線	消防設備点検 災害食の置き場 所・提供方法確 認
9月	花火大会 (ご家族 参加)	敬老の日膳 3階 焼きたて焼き鳥			地震時訓練 空調点検
10月	敬老の会 (ご家族 参加)	秋の味覚行事 (土鍋ご飯) 2階 焼きたて焼き鳥 4階 喫茶智音	予防接種 (スタッ フ)	インフルエンザ予防 接種	防災マニュアル 確認 災害連絡網更新
11月		焼き芋 5階 焼きたて焼き鳥 5階 喫茶智音	予防接種 (ゲスト) 介護職員定 期健診	インフルエンザ予防 接種 胸部X線、採血、検 尿、検便、心電図、 腰痛問診 (CWのみ) 等	災害電話訓練 防災マニュアル 確認
12月	クリスマス (クリスマスプ レゼント クリ スマスイルミネ ーション)	クリスマスランチ マフィンデコレーシ ョン 年越しそば 4階 揚げたて串カツ			図上避難訓練 空調点検
1月	初詣 餅つき	おせち 七草粥 鏡開き (ぜんざい) 3階 揚げたて串カツ			図上避難訓練
2月	節分 (豆まき行事)	節分 (巻き寿司) バレンタインデー (チョコレート) 2階 揚げたて串カツ			BCP 確認+BCP 訓 練 消防設備点検 担送護送独歩確 認
3月	お雛様飾り	ひな祭り (ちらし寿司) 5階 揚げたて串カツ			空調点検 暗証番号変更

8. 《職員配置》ショートを含む定員80名

施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員	看護職員
1名	1名	1名	1名以上	4名以上
管理栄養士	介護職員 (常勤)			
1.4名	27名以上			

令和7年度 事業計画書

大慈智音園ショートステイ

1.《基本方針》

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的、身体的な援助を行う。又、居宅における生活と利用時の生活が継続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居者が相互に社会関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるサービスを提供する

2.《最終目標》

心・和み・笑顔 ～私達が将来入居したい施設を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします。
- ・全ての人々の和を大切にします。
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします。

3.《令和7年度 施設の目標》（充足率日中100%）

※令和5年度から5年計画にて引き続き取り組みます。

- ①人財育成（チームコーチングにより、人間力を向上させます。）
- ②シフトシステム改革（無理なく、協力しあえるシフトシステム構築をします。）
- ③業務改善（職員から発信される無理と無駄をリサーチし、現場業務の見直しを行います。）
- ④福利厚生（職員を大切にする施設である事を、職員がさらに感じられる施設になります。）
- ⑤サービスの充実（ゲストと家族に満足頂けるサービスを提供します。）
- ⑥部署や施設を超えた繋がり（共創する関係を作ります。）

4.《委員会活動》

5.《地域貢献事業》

6.《職員会議》

7.《月行事・行事食・年間行事》

8.《職員配置》ショートを含む定員80名

大慈智音園と同様

令和7年度 事業計画書

ケアハウス大慈

1. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

2. 《最終目標》

いきいきのびのびスマイリー運動

みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します)

- ・生きがい・やりがいを大切にします
- ・自分らしさを大切にします
- ・自然と笑顔溢れる温かい雰囲気を大切にします
- ・みんながしあわせになることを目指します

3. 《中期目標》

- ① 地域から、選ばれる施設にする
- ② 周囲から、この施設で働きたいと思われる事業所にする
- ③ まんだらシートに掲げた目標を達成させる

4. 《令和7年度重点目標》

＜施設目標＞

① コーチング研修で学んだコーチングスキルを実践する

- ・会議コーチングを用いて司会、参加者、書記、議長のそれぞれの役割を明確化し、それぞれの役割を果たす
- ・グッドサイクルでのPDCAサイクルを確立する
- ・各職員の強み、弱みを理解することで生産性の向上、サービスの質の向上を行う
- ・全ての職員が目標を持ち、その目標の見える化を行う。皆で協力し目標を達成することで、自己肯定感を高め、自信を掴む
- ・5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しゅみ）を行い、誰もが心地の良い環境を作る
- ・導入した介護ロボット（ピュアット）を活用し、業務改善を行い、ムリ・ムラ・ムダをなくす
- ・思ったことが言える職場風土を作り、心理的安全性のある職場を作る

＜経営目標＞

① 在籍率97%以上、在園率95%を維持する

A) 待機者を確保し、退居から新入居までの期間を短くする

- ・各あんしんすこやかセンター、居宅介護支援事業所、病院等、定期的な連絡・営業活動を実施する
- ・施設見学会を定期的に開催する。また見学希望があればタイムリーに対応していく

B) ケアハウス大慈の認知度の向上

- ・ホームページでのブログやSNS、地域機関紙等を使用し、施設の概要や活動内容の発信を行い、認知度の向上を行う

5. 《環境整備計画（予定）》

大規模修繕計画を作成し、経年劣化による修繕と業務効率を意識した整備を実施する

- ① 非常灯交換工事
- ② 給水・給湯設備の改修更新
- ③ 特殊浴槽（寝台浴槽）の導入

6. 《地域貢献事業》

- ① 社会貢献委員会が主催する行事
- ② ほっとかへんネットKOB E・西との連携

7. 《職員会議等》

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	事業戦略会議	会計会議	だいじな会議
	フロア会議	リーダー会議	経営会議	
随時	ケアカンファレンス			

<委員会活動>

委員会名		
サービス向上委員会	事故再発防止対策委員会	身体拘束適正化検討委員会
虐待防止検討委員会	感染症防止対策委員会	非常災害時対策・設備委員会
チェリッシュ委員会	看取りケア委員会	褥瘡防止対策委員会
行事委員会	労働衛生推進委員会	予算管理委員会
外国人労働者担当者会議		

8. 《月行事・行事食・年間行事》

<食事>

行事食（赤飯）	毎月1日
お食事会	フロア別に毎月1回

月	行事		健康・予防接種	年間計画	防災計画
	施設年間行事 外出行事	栄養科	項目	内容	項目・内容
4月	お花見	お花見 ティータイム	ゲスト定期健診	採血 胸部X線	新人向け研修・ 消火訓練
5月	母の日	母の日 こどもの日	全職員定期健診	採血 胸部X線 検尿・検便 心電図	

6月	父の日 棒サッカー大会	父の日			
7月	七夕	七夕 設立記念日 バイキング			
8月	スイカ割 かき氷				避難訓練 (日中想定)
9月	敬老会	敬老会 餅つき			OFF-JT (不審者・火災 想定) 図上訓練
10月	縁日		予防接種 (全職員)		
11月	運動会		インフルエンザ 予防接種 (ゲスト) 介護職員定期健診	採血 採尿	避難訓練 (夜間想定)
12月	クリスマス会	クリスマス			
1月	初詣	おせち 7草粥			神戸市 シェイクアウト 訓練
2月	節分	節分 バレンタイン デー			避難訓練 (夜間想定)
3月	ひな祭り 餃子パーティー	ひな祭り ホワイトデー			OFF-JT (災害・ 地震想定図上 訓練)

9. <職員構成>

施設長	副施設長	生活相談員	看護職員 (パート)	管理栄養士
1名	1名	1名	3(1)名	2名
事務員	介護職員 (1フロア)	介護職員 (パート) (1フロア)	機能回復訓練士	運転手
2名	7名	3名	1名	2名

令和7年度 事業計画書

ショートステイさくら

1. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

2. 《最終目標》

いきいきのびのびスマイリー運動

みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します)

- ・生きがい・やりがいを大切にします
- ・自分らしさを大切にします
- ・自然と笑顔溢れる温かい雰囲気を大切にします
- ・みんながしあわせになることを目指します

3. 《中期目標》

① 地域から、選ばれる施設にする

② 周囲から、この施設で働きたいと思われる事業所にする

4. 《令和7年度重点目標》

<ケア部門>

① コーチング研修で学んだコーチングスキルを実践する

- ・会議コーチングを用いて司会、参加者、書記、議長のそれぞれの役割を明確化し、それぞれの役割を果たす
- ・グッドサイクルでのPDCAサイクルを確立する
- ・各職員の強み、弱みを理解することで生産性の向上、サービスの質の向上を行う
- ・全ての職員が目標を持ち、その目標の見える化を行う。皆で協力し目標を達成することで、自己肯定感を高め、自信を掴む
- ・5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しゅみ）を行い、誰もが心地の良い環境を作る
- ・導入した介護ロボット（ピュアット）を活用し、業務改善を行い、ムリ・ムラ・ムダをなくす
- ・思ったことが言える職場風土を作り、心理的安全性のある職場を作る

② 大慈ショートステイさくらならではのサービスの確立

- A) 各ゲストの要望に沿ったサービスを提供するとともに、自宅に近い環境で生活ができる
- B) 各ゲストの意思や力で生活ができるよう、ケアプランと連動したサービスを提供する
- C) 気軽に運動ができる環境づくりをし、下肢筋力の維持・向上に努め、ご利用前と同じ状態、もしくは向上した状態で帰宅する

<経営部門>

① 充足率の向上（目標95%以上）

- ・空きベッドの公開、外部への連絡調整を行う

- ・ケアカンファレンスへ参加し、ケアマネジャーとの情報交換に努める

② 定期的な営業活動の実施

- ・新たなパンフレットの作成
- ・あんしんすこやかセンター、病院関係等への訪問

5. 《環境整備計画》

6. 《地域貢献事業》

7. 《職員会議等》

8. 《月行事・行事食・年間行事》

9. 《職員構成》



ケアハウス大慈に準ずる

令和7年度 事業計画書

西神南あんしんすこやかセンター

1. 《基本方針》

- ①介護保険制度をはじめとする市町村の介護・福祉行政の一翼を担う機関であることを認識し、公正中立な事業運営を行う。また、地域の特性や実情を常に把握し何事に対しても柔軟に対応をしていく
- ②職員相互に常に情報を共有し、互いの業務の理念・基本的な骨格といったものを理解した上で、連携・協働の体制を整え、地域包括支援センター業務全体をチームとして支えていく
- ③圏域の居宅介護支援事業所・介護サービス事業所・地域と密に連携をとり、地域包括ケアの充実を図る

2. 《最終目標》

「安心して暮らせる街づくり」

- ・介護を受ける事になっても、介護をする事になっても安心して暮らせる街づくりを地域の方々と共に行い、地域の福祉サービスの一翼を担っていく。

3. 《目標》

①相談対応の充実

A) 介護者支援の充実

- ・介護リフレッシュ教室を年間6回（2ヶ月に1回）西神南センタービルにて開催
- ・介護保険認定申請をはじめ、必要な支援が受けられるよう各関係者と連携しながら対応を行う

B) 地域力の向上

- ・地域に対しての啓発の実施（認知症や介護予防に関する講座の開催）、民生委員との情報交換の場を持つ。

C) 地域の関係者との連携

- ・地域行事への参加、ふれ協等へのセンターの広報等。地域の現状や地域診断の結果を地域の会議などでフィードバックし、地域課題の共有を図る。

D) 相談窓口の周知徹底

- ・広報誌の発行（年2回）、関係機関や地域住民への配布。
- ・圏域内福祉マップの再作成。

E) 認知症事業の啓発

- ・認知症高齢者声掛け訓練の実施

②介護予防の充実

A) 介護予防ケアマネジメントの充実

- ・月1回の事例検討会の開催や各種研修への参加を通じ、ケアマネジメントスキルの向上に努める。

B) 介護予防の啓発。介護予防事業への推奨

- ・総合相談や地域活動において把握した、支援が必要な方について、要支援認定申請や基本チェックリストを実施し必要な支援に繋げる。また、介護予防の取り組みが必要な高齢者等には、地域行事やフレイル通所サービスなどの介護予防事業等への推奨を積極的に行っていく。

C) 直営ケアマネジメント件数の向上

- ・直営担当の給付管理数、月210件を目標とし、安定した収入を確保する。

③地域見守りの強化

A) 地域団体との連携

- ・月1回のネットワークミーティングで地域課題の分析を行い、課題解決に向けた地域ネットワーク会議を開催する。

B) コミュニティ作りの充実

- ・地域の集い場立ち上げの支援と、既存の集い場のバックアップ。

④防災・減災への取り組み、新型コロナウイルス等感染拡大予防への取り組み。

BCPの管理と訓練の実施。

4. 《年間行事予定》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護リフレッシュ教室	○		○		○		○		○		○	
福祉講座（権利擁護啓発等）					○ (井吹台東町)							
地域ネットワーク会議			○ (圏域内薬局)									
認知症高齢者声掛け訓練						○ (コープ)						

その他、地域ケア個別会議は随時開催

○介護リフレッシュ教室

在宅で介護をしている方が悩みを独りで抱え込まないように、介護者同士の交流の場として年間6回西神南センタービルにて開催。

他センターの取り組みなどを知り、今後の開催に役立てていく。

○福祉講座

住み慣れた地域での生活が継続できるよう、圏域内住民に対して勉強会を開催。センターの啓発や、フレイル予防、消費者被害・成年後見等の注意喚起等を行なっていく。

○地域ネットワーク会議

個別事例に関する地域ケア個別会議の開催を積み重ねる。また、地域課題を検討し、課題解決に向けた地域ケア会議を圏域内で開催する。

○認知症高齢者声掛け訓練

圏域内にて、認知症高齢者声掛け訓練を開催する。（圏域内の商業施設での開催を目指す）

5. 《職員構成》

管理者	主任介護支援専門員	保健師・看護師等
1名 (地域支え合い推進員兼務)	1名	3名
社会福祉士	地域支え合い推進員	介護支援専門員
1名	1名	1名

令和7年度 事業計画書

居宅介護支援事業所 大慈園

1. 《基本方針》

- ①可能な限り住み慣れた地域において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるよう支援する
- ②公正中立な立場で、自己決定ができるように援助する
- ③質の高いケアマネジメントの推進
- ④地域包括ケアシステム内の関係構築

2. 《最終目標》

「豊かで安心できる在宅生活の実現」

- ・介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で最期まで過ごせるよう、様々な社会資源を活用し生活をサポートしていく

3. 《目標》

- ①一人一人が介護支援専門員としての力をつけ利用者から信頼される
 - A) 事例検討会を年10回行う
 - B) 各自が新しい業務や役割に挑戦する
 - C) 研修に参加し学びを伝達会議にて共有する
 - D) 地域ケア会議に事例を提出する
 - E) 他法人と協働の事例検討会に参加する
- ②収益の維持
 - A) 要介護のケースを月165件請求する
 - B) 広報チラシを更新する
 - C) 事業所内の収支について知る
 - D) 予防プランを担当する
 - E) 地域行事に参加する（地域資源を知り、住民の方と交流の機会を持つ）
- ③チームワークの強化
 - A) 朝のミーティングを行う
 - B) 利用者の担当変更や同行訪問を行う
 - C) 地域行事に参加する
 - D) 職員間の親睦昼食会を行う
 - E) ラインワークスを活用して利用者の情報共有を行う
- ④認定調査業務の受託
- ⑤BCPの管理と訓練実施
- ⑥高齢者虐待防止及び、身体拘束防止対策の推進

⑦ハラスメント対策の強化

4. 年間行動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事例検討会	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○
他法人との事例検討				○							○	
BCP研修・訓練実施											○	
虐待・身体拘束防止研修 (☆施設主催)								☆	☆			○
ハラスメント研修											○	

※伝達会議（週1回）、調査員会議（隔月）、研修・地域ケア会議・地域行事には随時参加
事例検討会は年間計画表に沿って実施

5. 《職員構成》

管理者	主任介護支援専門員	介護支援専門員	認定調査員
1名	4名 (内1名は管理者兼務)	1名	3名

令和7年度 事業計画書

大慈幼保連携型認定こども園

1. 《基本方針》

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽に励み、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図り、やりがいや喜びのある環境を作る。

2. 《中長期計画》

- ①教育・保育要領を理解し、教育保育を深める。
- ②地域交流を深め、地域と共に育てる。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④広報活動・求人活動を積極的に行う。
- ⑤法人内の幼保連携型認定こども園・小規模保育園との連携を図り、独自性を出す。
- ⑥地域の子育て家庭への支援を行う。

3. 《令和7年度計画》

- ①子どもの発達段階をよく理解し、主体性を育むよう努める。
- ②子どもの好奇心から始まる自発的な遊びや活動が展開できるように環境を整える。
- ③本園、とも分園が一体となり保育をするために、職員同士の連携を強化する。
- ④特色・事業内容の視覚化を進める。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者に職員を知っていただく。
 - ・ホームページ等での発信を行う。
 - ・地域に園だより等を配布する。
- ⑤資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・職員会議毎に研修、伝達講習、ブレインストーミングを行う。
 - ・教育保育部門職員合同研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑥人財確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る。）
 - 職員の心のケアを行える組織体制を整える。
- ⑦リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑧保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑨園開放・園見学にたくさん参加していただけるよう受け入れ体制を整えておく。
- ⑩地域の子育てニーズに応えるべく分園で一時保育・誰でも通園制度を積極的に受け入れる。
- ⑪子育てサロンを通して、地域の子育て支援を深める。

4. 《修繕・購入計画》

- ・分園 玄関扉取り換え工事

5. 《地域貢献事業計画》

- ・8月 地蔵盆（大慈こども園）
- ・12月 おもちつき
- ・毎月 第1第3木曜日 本園 第2第4火曜日 とも分園 園庭開放・園見学
- ・随時 土曜日園見学受付
- ・毎月 基本第4土曜日 子育てサロン開催
- ・ほっとかへんネット中央との連携

6. 《大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園との連携》

- ・1号認定に移行する大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園の園児（2歳児）を早めに受け入れ慣れるようにする。

7. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	こいのぼりの集い
6月	お楽しみ会 歯科教育指導 同園会
7月	創立記念日 プール開き 七夕まつり ワークキャンプ受け入れ
8月	地蔵盆（大慈こども園）
9月	お泊り保育（5歳児）
10月	スポーツフェスティバル 秋の遠足
11月	保育参加・参観 お楽しみ会 津波避難訓練 遠足（5歳児） トライやるウィーク受け入れ よい子のつどい（5歳児）
12月	音楽会（4・5歳児） クリスマス会 おもちつき
1月	お楽しみ会 津波避難訓練 生活写真撮影
2月	わくわく会（発表会）
3月	お別れ遠足 お別れ会 卒園式 津波避難訓練

月間行事（月1回）

- ・お誕生日会 防災訓練 防犯訓練

その他

- ・ECC英語遊び（2～5歳児） 音楽指導（4・5歳児） 月数回
- ・消火器、火災報知器の点検 年2回
- ・消防署による消防訓練 年1回
- ・警察署による交通安全教室、防犯訓練 年1回

・事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー・痙攣）

8. <保健衛生計画>

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・11月（4・5歳児）
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	11月 年1回
園児発育測定	月1回
園児検尿	年1回
調理員・保育者全員検便	月1回以上
調理室の消毒	毎月1回
グリストラップの清掃	年5回
エアコン・換気扇の清掃	年1回

令和7年度 事業計画書

大慈ひょうご幼保連携型認定こども園

1. 《基本方針》

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽に励み、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図る。

2. 《中長期目標》

- ①理念に基づいた教育・保育を職員で共通理解し、実施する。
- ②子ども、保護者に寄り添い、地域とともに歩む。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④法人内幼保連携型認定こども園・小規模保育園との連携を図り、独自性を出す。
- ⑤地域交流を深め、地域子育て家庭への支援を行う。

3. 《令和7年度計画》

- ①子どもの発達段階をよく理解し、主体性を育むよう努める。
- ②子どもの好奇心から始まる自発的な遊びや活動が展開できるように環境を整える。
- ③子どもや保護者、地域とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにする。
 - ・地域の学校、施設、関係者に園だよりを配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
 - ・要支援家庭、外国籍家庭に対して、職員が共通理解を持ち保育を進めると共に、関係機関と連絡を密にして子どもが安定して園生活ができるようにする。
- ④異年齢児交流を行い、関わりを深めていく。
- ⑤資質向上のため、職場内、職場外研修（オンライン研修含む）を行い、全職員で共通理解をする。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・職員会議毎に研修、伝達講習、ブレインストーミングを行う。
 - ・教育保育部門合同研修を行う。
 - ・法人内職員での専門性を深めるチーム会議を随時行い、各園に周知する。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑥人財確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る）
職員の心のケアを行える組織体制を整える。
- ⑦行事に地域の方をご招待し、一緒に遊ぶ機会を計画するなど、地域交流を深め、地域に根付いた園であり続ける。
- ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑨保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑩園開放・園見学にたくさん参加していただけるよう受け入れ体制を整えておく。
- ⑪地域の子育てニーズに応えるべく一時保育を積極的に受け入れる。

4. 《修繕・購入計画》

- ・園庭の改造工事

5. 《地域貢献事業計画》

- ・7月、8月 プール開放 夏まつり 大慈こども園の地藏盆
- ・11月 焼きいもパーティー
- ・毎月 基本第1、3水曜日 園庭開放
- ・一時保育
- ・ほっとかへんネット兵庫との連携

6. 《大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園との連携》

- ・1号認定に移行する大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園の園児（2歳児）を早めに受け入れ慣れるようにする。

7. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	こいのぼりの集い
6月	食育フェア お楽しみ会 歯科教育指導 同園会
7月	プール開き セタ祭り 夏まつり
8月	ワークキャンプ受け入れ
9月	お泊り保育（5歳児）
10月	ひょうごスポーツフェスティバル 秋の遠足（全園児）
11月	焼きいも大会 保育参加・参観 作品展 避難訓練（津波） 遠足（5歳児） よい子のつどい（5歳児） トライやるウィーク受け入れ
12月	ドレミコンサート クリスマス会
1月	もちつき 避難訓練（津波）
2月	わくわくひょうごデー
3月	お別れ遠足（全園児） お別れ会 卒園式 避難訓練（津波）

月間行事（月1回）

お誕生日会 防災訓練 防犯訓練 ECC英語遊び 音楽あそび

その他

- ・兵庫区内児童館との交流
- ・法人内園の交流
- ・湊小学校との交流
- ・消防署による消防訓練 年1回
- ・警察署による交通安全教室・防犯訓練 各年1回
- ・事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー対応・痙攣）
- ・消火器、火災報知機の点検を年2回行う。

8. 《保健衛生計画》

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・11月 年2回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
4・5歳児眼科健診	6月 年1回
園児身体測定	月1回
園児尿検査	年1回
調理員・保育者検便	月1回以上
調理室の消毒	月1回
グリストラップの清掃	年4回
エアコン・換気扇の清掃	年1回
砂場消毒	年1回

令和7年度 事業計画書

大慈ほまれ幼保連携型認定こども園

1. 《基本方針》

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽に励み、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図り、やりがいや喜びのある環境を作る。

2. 《中長期計画》

- ①教育・保育要領を理解し、教育保育を深める。
- ②地域交流を深め、地域と共に育てる。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④広報活動・求人活動を積極的に行う。
- ⑤法人内の幼保連携型認定こども園・小規模保育園との連携を図り、独自性を出す。
- ⑥地域の子育て家庭への支援を行う。

3. 《令和7年度計画》

- ①子どもの発達段階をよく理解し、主体性を育むよう努める。
- ②子どもの好奇心から始まる自発的な遊びや活動が展開できるように環境を整える。
- ③大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園との連携を図り、豊かな保育を行えるようにする。
- ④特色・事業内容の視覚化を進める。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、保護者に職員を知っていただく。
 - ・ホームページ等での発信を行う。
 - ・地域に園だより等を配布する。
- ⑤資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・職員会議毎に研修、伝達講習、ブレインストーミングを行う。
 - ・教育保育部門職員合同研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑥人財確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る。）
職員の心のケアを行える組織体制を整える。
- ⑦リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑧保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑨園開放・園見学にたくさん参加していただけるよう受け入れ体制を整えておく。
- ⑩地域の子育てニーズに応えるべく一時保育を積極的に受け入れる。
- ⑪一時保育を通して、地域の子育て支援を充実させる。

4. 《地域貢献事業計画》

- ・ 8月 地蔵盆（大慈こども園）
- ・ 1月 おもちつき
- ・ 毎月 基本第2・4木曜日 園庭開放・園見学
- ・ 随時 土曜日園見学受付
- ・ 一時保育
- ・ ほっとかへんネット中央との連携

5. 《大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園との連携》

- ・ 感染症の流行時以外、土曜日は大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園の園児も大慈ほまれ幼保連携型認定こども園で保育を行う。
- ・ 1号に移行する大慈あい小規模保育園・大慈さち小規模保育園の園児（2歳児）を早めに受け入れ慣れるようにする。

6. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4月	入園式
5月	こいのぼりの集い
6月	お楽しみ会 歯科教育指導 同園会
7月	プール開き 七夕まつり お楽しみ会 ワークキャンプ受け入れ
8月	地蔵盆（大慈こども園）
9月	お泊り保育（5歳児）
10月	スポーツフェスティバル 秋の遠足（全園児）
11月	作品展 保育参加・参観 お楽しみ会 津波避難訓練 遠足（5歳児） トライやるウィーク受け入れ よい子のつどい
12月	ほまれっこコンサート（4・5歳児） クリスマス会
1月	おもちつき お楽しみ会 津波避難訓練 生活写真撮影
2月	わくわく会（発表会）
3月	お別れ遠足（全園児）お別れ会 卒園式 津波避難訓練

月間行事（月1回）

- ・ お誕生日会 防災訓練 防犯訓練

その他

- ・ ECC英語遊び（2～5歳児） 音楽指導（4・5歳児） 月数回
- ・ 近隣の園との5歳児交流会 年2回
- ・ 法人内、学童との交流
- ・ 法人内こども園との交流
- ・ 消火器、火災報知器の点検 年2回

- ・消防署による消防訓練 年1回
- ・警察署による交通安全教室、防犯訓練 年1回
- ・事故対応訓練（SIDS・プール事故・アレルギー・痙攣・窒息）

7. 《保健衛生計画》

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・11月（4・5歳児）
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児眼科健診	11月 年1回
園児発育測定	月1回
園児検尿	年1回
調理員・保育者検便	月1回以上
調理室の消毒	毎月1回
グリストラップの清掃	年5回
エアコン・換気扇の清掃	年1回

令和7年度 事業計画書

大慈あいこ規模保育園

1. 《基本方針》

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽に励み、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図り、やりがい喜びのある環境を作る

2. 《中長期目標》

- ①保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する。
- ②子ども、保護者に寄り添い、共に子育てをする。
- ③キャリアパスを基に研修の充実を図る。
- ④法人内幼保連携型認定こども園との連携を図り独自性を出す。

3. 《令和7年度計画》

- ①保育理念をよく理解し、子どもの主体性を育むよう保育をする。
- ②保護者理解が深められるよう、日頃からの関わりを大切にする。
- ③大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との連携を図り、豊かな体験を増やす。
- ④保護者や地域の方々とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにする。
 - ・地域に園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
- ⑤資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修含む）を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・教育・保育部門合同研修を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑥日頃より、法人内園・児童館に行き、交流を深める。
- ⑦人財確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る）
職員の心のケアを行えるよう組織体制を整える。
- ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑨保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑩園見学にたくさん参加していただけるよう受け入れ体制を整えておく。

4. 《大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との連携》

- ・土曜日は大慈ほまれ幼保連携型認定こども園で保育を行う。
- ・1号で移行する園児（2歳児）は各連携園に、早めに受け入れ、慣れるようにする。

5. 《地域貢献事業計画》

- ・ 12月 おもちつき（大慈ほまれこども園）
- ・ 随時 土曜日園見学受付

6. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4月	入園式
6月	個人懇談
7月	七夕まつり
10月	運動会 遠足ごっこ
11月	保育参加 個人懇談 津波避難訓練
12月	クリスマス会
1月	おもちつき（大慈ほまれこども園） お楽しみ会 津波避難訓練
2月	豆まき
3月	お別れ会 修了式 お別れ遠足 津波避難訓練

月間行事

- ・ お誕生日会（月1回）
- ・ ECC英語遊び
- ・ 防災訓練

その他

- ・ 防犯訓練
- ・ 事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応・窒息）
- ・ 消火器、火災報知機の点検 年2回

7. 《保健衛生計画》

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・年1回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児身体測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
保育者全員検便	（株）有研により月1回以上

1. 《基本方針》

- ①子どもを第一に考え、保護者に寄り添い共に育てる。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
- ③職員の定着に向けて、業務の効率化を図り、やりがいや喜びのある環境を作る

2. 《中長期目標》

- ①子ども、保護者に寄り添い、共に子育てをする。
- ②保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する。
- ③地域に愛される大慈さち小規模保育園になるよう努める。
- ④法人内幼保連携型認定こども園との連携を図り独自性を出す。
- ⑤キャリアパスを基に研修の充実を図る。

3. 《令和7年度計画》

- ①保育理念をよく理解し、子どもの主体性を育むよう保育をする。
- ②保護者理解が深められるよう、日頃からの関わりを大切にする。
- ③法人内幼保連携型認定こども園との連携を図り、豊かな体験を増やす。
- ④保護者や地域の方々とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。
 - ・職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにする。
 - ・地域に園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
 - ・花壇に綺麗な花を咲かせ、地域の心温まる場所になるよう手入れをする。
- ⑤資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修含む）を行う。
 - ・キャリアパス要件を満たすよう研修を受講する。
 - ・教育・保育部門合同研修を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑥日頃より、法人内園に行き交流を深める
- ⑦人財確保・定着に努める。（ICTの活発な活用等により効率化を図る）
 - 職員の心のケアを行える組織体制を整える。
- ⑧リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑨保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑩園見学にたくさん参加していただけるよう受け入れ体制を整えておく。

4. 《大慈ほまれ幼保連携型認定こども園との連携》

- ・土曜日は大慈ほまれ幼保連携型認定こども園で保育を行う。
- ・1号で移行する園児（2歳児）は各連携園で、早めに受け入れ、慣れるようにする。

5. 《地域貢献事業計画》

- ・8月 地藏盆(大慈こども園)
- ・随時 土曜日園見学受付

6. 《行事計画》

年間行事

月	行 事
4 月	入園式
6 月	個人懇談
7 月	七夕まつり
8 月	地藏盆(大慈こども園)
10 月	なかよしフェスタ 遠足ごっこ
11 月	保育参加 個人懇談 津波避難訓練
12 月	クリスマス会
1 月	もちつき(ほまれこども園) 津波避難訓練
3 月	お別れ会 修了式 お別れ遠足 津波避難訓練

月間行事

- ・お誕生日会(月1回)
- ・ECC英語遊び
- ・防災訓練

その他

- ・防犯訓練
- ・事故対応訓練(SIDS・誤飲・アレルギー対応・窒息)
- ・消火器、火災報知機の点検 年2回

7. 《保健衛生計画》

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・年1回
園児耳鼻科健診	6月 年1回
園児発育測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
保育者全員検便	(株)有研により月1回以上

令和7年度 事業計画書

神戸市立たちばな児童館

1. 《基本方針》

家庭的な雰囲気の中で、遊びや子ども同士の関わりを通して、将来も幸せになるよう支援を行い、子育てコミュニティの拠点となるよう地域に開かれた児童館を目指す。

2. 《中長期計画》

- ①地域と連携して、子どもを健全に育成する拠点となる。
- ②法人内幼保連携型認定こども園と連携を図り、保育の玄関口となる。
- ③親子が気軽に集い、育児に対する負担感を軽減できる場となる。
- ④育児に不安を覚えた方が、安心して相談できる場所になる。
- ⑤初めて来られる方が安心して利用できるように、また、児童館の存在を知らない子育て家庭に、知っていただけるように広報活動をしていく。
- ⑥地域の小学生以上の児童が進んで遊びに来たくなる場所を目指す。
- ⑦ボランティアの募集を積極的に行い、児童館活動の更なる充実を図る。

3. 《令和7年度計画》

- ①地域との連携を密にし、児童館活動を充実させる。
- ②法人内こども園と連携して、活動内容の見直しや、環境の整備を行う。
- ③SNSやホームページの活用、お知らせの配布等、広報活動を積極的に行い、児童館の活動内容を沢山の方々に知っていただく。
- ④気軽に足を運び、相談ができるように清潔で明るい雰囲気を作っていく。
- ⑤ボランティア受け入れを行い、遊びや行事の充実、地域との連携強化を図る。
- ⑥学習支援教室を引き続き行い、子どもの居場所づくりをすることで地域貢献を行う。
- ⑦資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑧保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑨おやこふらっとひろば中央と連携を図り、育児相談を充実させる。
- ⑩子育てチーフアドバイザーを中心として、気軽に育児相談ができるようする。
- ⑪中高生の意見を取り入れながら利用を促進していく。
- ⑫小学生～高校生の居場所づくりとして毎週木曜日の9:30～14:00に専用室を開放する。
- ⑬小学校夏季休業期間中に乳幼児親子の居場所づくりを行う。

(1) 児童健全育成事業

児童館での日常の自由遊びや行事を通して、児童の健全育成を図る。

対 象：18歳未満の児童館に来館する児童（乳幼児は親子同伴）

(2) 在宅育児家庭支援

親子館事業

在宅育児家庭における育児に伴う孤立化や育児不安などへ対応するため、地域に住む乳幼児と保護者を対象に親子が気軽に集える場として事業を行う。

○「すこやかクラブ」2～4歳児とその保護者の仲間づくり（登録制）

目 的：2～4歳児の親子対象で、グループで楽しく遊び、保護者同士の交流を図る。

対 象：2～4歳児とその保護者（2024年4月1日現在）

実施日：毎週金曜日10:30～11:30（5月～3月）

○「なかよしひろば」子育て親子の交流の場

対 象：0歳～就学前とその保護者（自由参加制）

実施日：毎週火曜日・水曜日（4月～3月）

- ・0歳タイム…0歳の親子が楽しく遊ぶ。

- 毎週火曜日10:30～11:30

- プログラムによっては10:00～10:30、11:00～11:30

- ・1歳タイム…1歳の親子が楽しく遊ぶ。

- 毎週水曜日10:00～10:30、11:00～11:30

- プログラムによっては10:00～10:30、11:00～11:30

- ・バースデイ…誕生月の子どもを参加した親子で祝う。

- 原則第3水曜日 1歳タイム内にて行う

- ・たちばなPark…0歳～就学前とその保護者が基の間に用意している遊具で体を動かして遊ぶ。

- 毎週月曜日 9:30～11:45

※ 多数の参加人数が見込まれ、制限が必要な場合は予約制にする。

○「おべんとうひろば」子育て親子の交流の場

- 毎日11:30～12:30

(3) 子育て家庭支援事業

放課後児童クラブ（学童保育）事業

活動を通して児童の健全な育成を図る。

対 象：小学校1年生～6年生児童

期 間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

子育て相談事業

家庭及び地域の子育て機能の低下などに伴う、保護者の子育て不安を和らげ、心身と

もに健全な児童の育成を図るため、児童館の職員が保護者の抱える育児に関する様々な問題について気軽に相談に応じる。

また、児童の虐待防止に関わる関係機関との連携を強化する。

対 象：来館又は電話などによる子育て相談

(4) 地域連携推進事業

子どもの健全育成を推進するためには、地域住民の積極的参加による地域活動を通して地域の育成環境づくりを推進していく。

○ボランティアの受け入れ・育成

ボランティアの多様な活動を活かし、魅力ある児童館の展開を図るため、地域の方に広く呼びかけ児童館ボランティアの育成を図る。

○子育てコミュニティ育成事業（児童館日曜開放）

目 的：地域の各種団体やボランティアで構成する「開放委員会」が実施する、児童館日曜開放に積極的に協力する。

*令和6年度計画は、令和7年3月 児童館日曜開放推進協議会で作成

(5) インセンティブ事業

各児童館の地域の特色や住民のニーズ、児童の意見を反映した、各児童館の独自のプログラムを実施し、より地域の子育て支援を充実させる。

- ・小学生～高校生の居場所づくり 毎週木曜日
- ・育児相談 毎週土曜日
- ・子育てサロン 毎月第2土曜日

(6) 中央区合同行事

中央区内11か所の児童館合同行事を年1回行う。

(7) 安全指導・危機管理

- ① 災害発生に備え、利用者、特に日常的に施設を利用する利用者に対して、避難訓練・指導などを実施することにより、災害発生時の対応方法を習得させる。
- ② 児童館には、自由来館者などの不特定多数の利用者もあり、災害時に、予備知識のない利用者も含めて適切かつ安全に避難誘導など対応ができるよう、職員間での訓練・会議・研修などを実施し、職員に必要な対応方法を理解・確認する。
- ③ 上記のほか、利用者や保護者などに、疾病の予防や在宅時での生活指導なども含めた指導・啓発を行うことにより、児童の健全でかつ安全な成長を促す。

- ・リスクマネジメント会議 月1回
- ・避難訓練（火災又は地震） 月1回
- ・不審者対応 月1回
- ・消防設備点検 年1回

~3~

- ・総合福祉センター避難訓練（火災）参加 年2回
- ・防災のつどい参加 1月

(8) 子どもの居場所づくり事業

放課後の子どもの居場所づくりの一環として学習支援教室「まなびやDAIJI」を行う。

対 象：小学校1年生～6年生

実施日：毎週金曜日15：00～17：00

実施場所：湊川神社（神社が使用できないときは、総合福祉センター又はたちばな児童館）

4. 《行事計画》

(1) 児童健全育成事業年間予定

4月	新入生歓迎会 こいのぼり作り
5月	こどもフェスタブース参加 楠北まつり参加
6月	夏祭り
7月	サマープログラム（工作・ゲーム）
8月	サマープログラム（工作・ゲーム） ビデオシアター 交通安全教室 高齢者とのふれあい交流 菊水天神祭りこども神輿参加 ワークキャンプ受け入れ
9月	敬老の日プレゼント作り
10月	たちばな week ハロウィンパーティー
11月	音楽遊び トライやるウィーク受け入れ
12月	クリスマス会 小学生お楽しみ会
1月	お正月遊び カルタ大会 むかしあそび大会
2月	豆まき
3月	つくって遊ぼう

定例行事

- ・みんなであそぼう又はみんなで作ろう 月1回
- ・けん玉検定 月2回 ・おはなし会 月1回
- ・セカンドステップ 月1回 ・おりがみの日 毎週火曜日

(2) すこやかクラブ年間予定

	月	日	内 容
	5	9	開講式 親子写真
		16	発育測定 ふれあい遊び
		23	制作
		30	遠足ごっこ（大倉山公園）
	6	6	プレゼント作り

		13	衛生指導(ふれあい講座)
		20	制作
		27	染紙遊び
	7	4	七夕まつり
		11	1学期誕生日会
2 学期	9	5	プレゼント作り
		12	歯科衛生指導
		19	ふれあい講座(絵本)
		26	制作
	10	3	消防署見学
		10	ミニ運動会
		17	おかあさんプログラム①
		24	ハロウィンごっこ
		31	たちばなweek
	11	7	おかあさんプログラム②
		14	サーキット
		21	クリスマス制作①
		28	クリスマス制作②
	12	5	交通安全指導
		12	2学期お誕生日会・クリスマス会
3 学期	1	8	大慈ほまれこども園の餅つき参加
		9	お正月遊び
		16	避難訓練 ふれあい遊び
		23	おかあさんプログラム③
		30	節分遊び
	2	6	修了記念制作①
		13	運動遊び
		20	修了記念制作②
		27	3学期お誕生日会
	3	6	お別れ遠足(王子動物園)
		13	修了式

令和7年度 事業計画書

神戸市立たちばな児童館放課後児童クラブ

1. 《基本方針》

- ①豊かな遊びや経験を通して、健やかな育成を図る。
- ②保護者、地域社会との連携を図り、よりよい子育て環境作りを行う。
- ③湊学童保育コーナー、湊第二学童保育コーナーとの連携を密に図る。

2. 《中長期目標》

- ①児童一人一人と丁寧に向き合い、心落ち着く場にする。
- ②安心して学童保育が利用できるよう、保護者との関係作りに努める。

3. 《令和7年度計画》

- ①高学年児童への対応を学び知識・技能を深める。
- ②豊かな経験ができるよう努める。
- ③夏季休業日期间、希望者にお弁当委託サービスを行う。
- ④リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑤児童、職員の交流を深め、湊学童保育コーナー、分室、湊第二学童保育コーナーと一体的に保育を行う。
- ⑥植物や生物の世話をする機会を用意し、命の大切さを学ぶ機会を作る。
- ⑦小学校との連絡会を随時行い、連携を図る。
- ⑧児童が興味を持っていることに進んで取り組めるように、環境を整えていく。
- ⑨小学生のパソコン学習に対応する。また、利用に関するルールについて職員も理解を深め、子どもに伝えていく。
- ⑩資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑪保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。
- ⑫小学校夏季休業期間中限定の学童保育児童の受け入れを行う。

4. 《指導内容》

- ①健やかで安全な環境作りに努めると共に、限られた場所と時間の中で豊かな人間形成の基盤を培う。
 - ・学習支援 ・けん玉遊びの推奨 ・昔遊びの推奨
 - ・セカンドステップ ・おはなし会 ・乳幼児との関わり ・地域との関わり
- ②学校や地域と連携を密に行い、子どもの自立支援に役立てる。

5. 《対象年齢》

小学1年生～6年生

6. 《行事計画》

年間行事

4月	新入生歓迎会 楠北まつり・こども神輿参加
6月	夏祭り
7月	昼食会 サマープログラム（工作・ゲーム）
8月	サマープログラム（工作・ゲーム） ビデオシアター 交通安全指導 高齢者との交流会 こども神輿参加
9月	敬老の日プレゼント作り
10月	ハロウィンパーティー
11月	音楽遊び 交流会 新1年生資料配布
12月	お楽しみ会 昼食会 乳幼児との交流
1月	お正月遊び カルタ大会 個人懇談
2月	豆まき
3月	お別れ会 入会説明会 昼食会

月間行事

・誕生日会・おたより発行・おはなし会

その他

・保育参観（随時）

7. 《時間》

平日	月～金	下校後～17:00
	土	8:00～17:00
休日	月～金	8:00～17:00
	土	8:00～17:00

延長保育

① 17:00～18:00

② 18:00～19:00

8. 《令和7年度4月1日時点での登録児童数》

通年利用		夏休み限定	
学年	登録人数	学年	登録人数
1年生	10	1年生	4
2年生	5	2年生	2
3年生	3	3年生	0
4年生	6	4年生	2
5年生	4	5年生	1
6年生	0	6年生	2
計	28	計	11

令和7年度 事業計画書

湊学童保育コーナー
湊第二学童保育コーナー

1. 《基本方針》

- ①豊かな遊びや経験を通して、健やかな育成を図る。
- ②小学校・保護者との連携を図り、よりよい子育て環境作りを行う。
- ③親館との連携を密に図る。

2. 《中長期目標》

- ①児童一人一人と丁寧に向き合い、心落ち着く場にする。
- ②安心して学童保育が利用できるよう、小学校・保護者との連携作りに努める。

3. 《令和7年度計画》

- ①小学校との連絡会を随時行い、連携を図る。
- ②児童、職員の交流を深め、親館と一体的に保育を行う。
- ③豊かな経験ができるよう努める。
- ④夏季休業日期间、希望者にお弁当委託サービスを行う。
- ⑤リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。
- ⑥植物や生物の世話をする機会を用意し、命の大切さを学ぶ機会を作る。
- ⑦児童が興味を持っていることに進んで取り組めるように、環境を整えていく。
- ⑧小学生のパソコン学習のルールについて職員も理解を深め、子どもに伝えていく。
- ⑨前年度に引き続き、小学校の空き教室を使つての受け入れを行う。
- ⑩分室、第二コーナーと連携を図り、延長保育や土曜日の保育を合同で行う。
- ⑪資質向上のため職場内、職場外研修（オンライン研修を含む）を行う。
 - ・コンプライアンス研修を行う。
 - ・子どもの人権・人格の尊重に関する研修を行う。
- ⑫保育の振り返りをミーティング・職員会議で行い、子どもの人権・人格を尊重する。

4. 《指導内容》

- ①健やかで安全な環境作りに努めると共に、限られた場所と時間の中で豊かな人間形成の基盤を培う。
 - ・学習支援 ・けん玉遊びの推奨 ・カルタの推奨
 - ・セカンドステップ ・おはなし会
- ②小学校と連携を密に行い、子どもの自立支援に役立てる。

5. 《対象年齢》

湊コーナー 1年生、5年生、6年生 湊コーナー分室 2年生
湊第二コーナー 3年生、4年生

6. 《行事計画》

年間行事

4月	新入生歓迎会 楠北まつり・こども神輿参加
6月	夏祭り
7月	昼食会 サマープログラム（工作・ゲーム）
8月	サマープログラム（工作・ゲーム） ビデオシアター こども神輿参加
9月	敬老の日プレゼント作り
10月	ハロウィンパーティー 個人懇談
11月	音楽遊び 新1年生資料配布
12月	お楽しみ会 昼食会
1月	お正月遊び
2月	豆まき
3月	お別れ会 入会説明会 昼食会

月間行事

・誕生日会・おたより発行・おはなし会

その他

・保育参観（随時）

7. 《時間》

平日	月～金	下校後～17:00
	土	8:00～17:00
休日	月～金	8:00～17:00
	土	8:00～17:00

延長保育

① 17:00～18:00

② 18:00～19:00

8. 《令和7年度4月1日時点での登録予定児童数》

学年	湊コーナー 登録児童数	湊コーナー分室 登録児童数	湊第二コーナー 登録児童数
1年生	60		
2年生		64	
3年生			59
4年生			45
5年生	19		
6年生	9		
計	88	64	104

令和7年度 事業計画書

ハーバー大慈

1. 《基本方針》

- ①利用者の最善の利益を目的とし、利用者主体の福祉サービスを提供する。
- ②母と子の権利擁護の為に、職員一人一人の倫理観、人間性を養い、母と子が安心して生活出来る場を提供する。

2. 《中長期計画》

- ①入所者が金銭的、精神的、社会的に自立出来る様、自立に繋がる支援をする。また、全職員がそのヴィジョンに対し、共通の意識を持ち業務を遂行する。
- ②職員の資質向上。
- ③母子生活支援施設の認知の向上。

3. 《令和7年度計画》

- ①各入所者の自立へのプロセスを明確にし、ニーズに沿った支援をする。また、心理士による専門的な支援を行う為の環境を構築する。それと同時に、特性を持つ児童に対し社会性が身に付くよう、学習カリキュラムを作成する。
- ②今後の施設の在り方を見据え、職員それぞれの個性、特性を活かした人員配置を行う。また、研修や勉強会へ参加し、自己研鑽に努める。
- ③母子連盟での活動…関係機関を対象にした、施設見学、研修会開催。
施設での活動…大学を訪問し、授業を行う。

4. 《地域貢献》

- ①法人こども園の時間外保育受け入れ。(20時以降)
- ②リフレッシュ保育事業。
- ③アフターケア。(居室訪問、相談業務、病院の付き添い、金銭管理、関係機関との連携等)
- ④ほっとかへんネット中央との連携。
- ⑤だいじひろば。(居場所作り)

5. 《会議》

頻度	会議名			
月1回	職員会議	支援会議	リスクマネジメント会議	
	ワンアップ会議	リーダー会議	リフレ委員会	世帯カンファレンス
年2回以上	三者連絡会議(施設、こども福祉係・生活支援課等の各担当者)			

6. 《学習指導》

- ①小学生・・・(各児童に沿った学習) 週1回
- ②中学生・・・(数学・英語・テスト勉強) 週1回以上

7. 《健康診断》

- ①職員・・・一般健康診断 年2回 検便(O-157) 月1回
- ②母親・・・一般健康診断 年2回
- ③児童・・・一般健康診断 年2回

8. 《研修》

- ①全母協職員研修会、全母協研究大会、近母協研究大会、法人内研修会、市母協研修会、
コーチング研修、コンプライアンス研修、子どもの人権、人格の尊重に関する研修を行う。
- ②支援の振り返りを引き継ぎ、職員会議等で行い、子どもの人権・人格を尊重する。

9. 《広報》

- ①施設新聞（利用者、関係機関に配布）、ホームページ、求人パンフレット配布。
- ②リフレッシュ保育。（利用対象者への広告の配布）
- ③母子生活支援施設の認知活動。

10. 《年間行事》

	行事	昼食会（開催数）	保健衛生	防災計画
4月	個別対応遊び	1回		消防訓練
5月	母と子の合同運動会（市母協） 個別対応遊び		エアコン清掃	消防訓練 消防点検
6月	個別対応遊び		害虫駆除	消防訓練
7月	七夕祭り 個別対応遊び	数回		消防訓練
8月	児童キャンプ（市母協） 地藏盆 個別対応遊び	数回		消防訓練 （水消火器）
9月	母と子のバス旅行（市母協） 焼肉パーティー 個別対応遊び	1回	廊下清掃	消防訓練
10月	小中高生、親子エンジョイ ハロウィン 個別対応遊び			消防訓練 不審者訓練
11月	OB会 施設内忘年会 個別対応遊び			消防訓練 災害訓練（津波） 消防点検
12月	施設内クリスマス会 個別対応遊び 児童もちつき	数回		消防訓練
1月	新春母と子のつどい（市母協） 新年会 個別対応遊び	1回		消防訓練 浸水訓練
2月	節分 個別対応遊び			消防訓練
3月	ひなまつり 児童スキー大会（市母協） 個別対応遊び	数回	排水管清掃	消防訓練

令和7年度 事業計画書

大慈学童クラブ

1. 《基本方針》
 - ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する。
 - ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する。
2. 《中長期計画》
 - ・地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また、各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育める様努める。
 - ・職員の資質向上。
3. 《令和7年度計画》
 - ①個別配慮が必要な児童の受け入れ等、利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する。
 - ②小規模学童保育のニーズ、特性を活かした保育が出来るよう、研修や勉強会へ参加し、自己研鑽に努める。
4. 《地域貢献》

延長保育の時間外受け入れ・・・19時～21時
5. 《会議》

学童委員会…月1回
6. 《広報》

学童新聞（利用者、関係機関に配布）
新学童受け入れ説明会

7. 《年間行事》

	行事	昼食会（開催数）	保健衛生	防災計画
4月	お花見会 のびっ慈 day	1回		消防訓練
5月	のびっ慈 day		エアコン清掃	消防訓練
6月	グループワーク（2回） のびっ慈 day		害虫駆除	消防訓練 浸水訓練
7月	七夕（七夕飾り作り） 学童個別懇談会 のびっ慈 day	数回		消防訓練
8月	地藏盆 屋台村 水遊び のびっ慈 day	数回		消防訓練 （水消火器）
9月	のびっ慈 day	1回	廊下清掃	
10月	ハロウィン のびっ慈 day			消防訓練 不審者訓練
11月	グループワーク のびっ慈 day			消防訓練 災害訓練 （津波想定） 消防点検
12月	クリスマス会 のびっ慈 day 学童個別懇談会	数回		消防訓練
1月	もちつき のびっ慈 day			消防訓練
2月	節分（豆まき） のびっ慈 day			消防訓練 （浸水訓練）
3月	お別れ会 ひなまつり のびっ慈 day	数回	排水管清掃	消防訓練

令和7年度 事業計画書

おやこふらっとひろば中央

1. 《基本方針》

- ①中央区の子育てコミュニティの拠点になる。
- ②親子に寄り添って支援を行う。
- ③中央区の子育て関係機関や近隣施設との積極的な連携を行う。

2. 《中長期計画》

- ①親子が安心して利用できるよう一人一人に寄り添って支援を行う。
- ②子どもが興味関心を持つよう環境を整える。
- ③「おやこふらっとひろば中央」を知っていただくよう積極的に広報を行う。

3. 《令和7年度計画》

- ①中央区こども福祉課や保健師、関係課と密な連携を図り、子育て支援を行う。
- ②中央区における子育てに関わる課題を抽出し、対応できるよう企画する。
- ③一人一人に寄り添って子育て相談に応える。
- ④子どもの興味関心のあることを見極め、玩具を始めとする環境を整える。
- ⑤広報活動を積極的に行う。
 - ・お家におられる方にも情報が届くよう、SNSの活用等、工夫する。
- ⑥職員全員で情報を共有し、親子が安心してひろばを利用できるようにする。

4. 《プログラム計画》

年間行事

月	プログラム
4月	ベビーヨガ
5月	親子ふれあい遊び
6月	歯科指導（相談会）
7月	感触遊び
8月	家庭内事故対応講座（相談会）
9月	赤ちゃん運動会
10月	ハロウィンパーティー
11月	保健師による保健衛生講座（相談会）
12月	クリスマスパーティー
1月	ベビーマッサージ

2月	楽器遊び
3月	栄養士による食育講座（相談会）

月間行事（月1回）

- ・お誕生日会 ・0歳タイム ・1歳2歳タイム ・お食事相談会
- ・フォト講座 ・バースデー
- ・三宮図書館との連携プログラム

不定期（年2回）

- ・双子三つ子のためのプログラム
- ・外国にルーツを持つ子どものためのプログラム
- ・中央区保育コーディネーターによる相談会
- ・パパ向けのイベント（中央区保健師との連携）
- ・妊娠中の方の見学&相談会（中央区保健師との連携）
- ・クリエイティブセンター神戸（KITO）との連携プログラム
- ・こども本の森 神戸との連携プログラム

その他

- ・避難訓練、防犯訓練
- ・消火器、火災報知器の場所確認

令和7年度 事業計画書

事業所内保育事業 大慈さくら保育園

1. 《ヴィジョン》

世代を超えた関わりのもと、安心して自分を出せる子どもを育てる

2. 《基本方針》

- ① 高齢者との多様な関わりを通して、思いやりの心を育む
- ② 自然との関わりを通して、多様な経験をする
- ③ 子どもが安心して生活できるように、保護者との連携を図る

3. 《最終目標》

心・和み・笑顔 ～世代を超えた関わり、誰からも愛される園を目指します～

「いつでも前向き」「私はあなたで、あなたは私」「共に楽しみ、共に笑う」

- ・全ての人々の心を大切にします
- ・全ての人々の和を大切にします
- ・全ての人々が笑顔になれる場所にします

4. 《中長期目標》

- ① 保育理念に基づいた保育を職員で共通理解し、実施する
- ② 子ども、保護者に寄り添い、共に子育てをする

5. 《令和7年度計画》

- ① 老人施設事業所内保育の特性を活かし、高齢者との交流を定期的に実施する
- ② こどもの国籍の多様化に対応するために、外国籍の保護者とのコミュニケーションを深める努力をし、こどもが安定して園生活を過ごせるようにする
- ③ 年齢に合った遊びを提供しながら、異年齢児との関りを深める

6. 《月行事計画》

月行事	頻度
お誕生日会	毎月1回
発育測定	毎月1回
特養高齢者との交流会	毎月2～4回

7. 《年間行事》

月	行 事	月	行 事
4 月	入園式	11 月	園外保育
5 月	こいのぼり	12 月	クリスマス会

～1～

6月	2歳児 園外保育	1月	正月あそび
7月	七夕まつり	2月	豆まき
8月	花火大会（特養と合同）	3月	お別れ会 お別れ遠足

8. 《防火防災計画》

①運営に関する基準に準じ毎月の防災訓練を実施する

月行事	頻度
防災訓練（避難及び消火訓練）	毎月1回
防犯訓練	毎月3回
安全チェック	毎月2回
事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応）	随時

②訓練や設備点検等、大慈智音園の防火防災計画と連動を図る

<例：大慈智音園防火防災計画>

月	内容
4月	消化器使用期限確認 防災マニュアル確認 避難訓練 不審者対策
5月	高圧電気点検 避難訓練
6月	災害連絡網確認
7月	避難訓練 不審者対策 消火訓練
8月	図上避難訓練 消防設備点検
9月	空調点検
10月	災害食使用訓練
11月	不審者対策 地震シェイクアウト訓練 災害連絡網訓練
12月	空調点検
1月	図上避難訓練
2月	消防設備点検 地震シェイクアウト訓練
3月	不審者対策

9. 《苦情処理》

- ・担当者を明記し随時受け付け口頭・書面で上司へ報告し敏速で確実な対応を行う。

10. 《幼保連携型認定こども園 神戸潤和保育園との連携》

- ・保育内容の支援（巡回指導・相談等・代替え保育）
- ・集団保育の体験機会（行事参加または屋外遊戯場の利用等）
- ・地域枠で入所される児童（3歳以降）の連携・調整
- ・給食の搬入

1 1. 《保健衛生計画》

項目	頻度等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	年1回
園児発育測定	月1回、胸囲測定(年2回)
園児検尿	年1回
保育従事者の検便	月1回 強化月間期間は月2回